

塗装仕様書

1. 塗装仕様 : 耐候性塗り(DP)
2. 適用 : 亜鉛めつき鋼面(改修)
3. 適用種別

工程	種別
亜鉛めつき鋼面の下地調整	RB種
亜鉛めつき鋼面の耐候性塗り	B種

4. 使用材料明細

規格名称	規格	塗料名
変性エポキシ樹脂プライマー	JASS 18 M-109	ガルバロック#300
鋼構造物用耐候性塗料	JIS K 5659 A種 中塗り塗料	NYポリンK中塗
鋼構造物用耐候性塗料(3級)	JIS K 5659 A種 上塗り塗料	NYポリンK上塗

5. 塗装仕様

工程	下地調整・塗料名 (希釀剤)	希釀率 (%)	塗付け量 (kg/m ²)	塗装間隔 (20°C)	塗装方法
下地調整	既存塗膜の除去 ディスクサンダー、スクレーパー等により、劣化しそうな部分等を除去し、活膜は残す。				
	錆の除去 ディスクサンダー、スクレーパー等により、除去する				
	汚れ、付着物除去 素地を傷つけないようにワイヤブラシ等により、除去する。				
	油類除去 溶剤ぶき				
	研磨紙ずり 研磨紙 P240~320 で全面を平らに研磨し、研磨かす等を除去する。				
1 下塗り	ガルバロック#300 (ガルバロック#300シンナー)	5~10	0.14	24時間以上 ~7日以内	はけ
2 研磨紙ずり	研磨紙 P120~220				
3 中塗り	NYポリンK中塗 (二液形ネオゴーセーション)	5~10	0.14	24時間以上 ~7日以内	はけ
4 上塗り	NYポリンK上塗 (NYポリンK上塗用シンナー)	5~10	0.10	—	はけ
注意事項	注: 鋼製建具等の亜鉛めつき鋼面の下塗りは、次による。 (ア) 見え掛り部分は、組立後、溶接個所等を修正し、ワイヤブラシ、研磨布等で汚れや付着物を十分に除去し、下塗りを行う。また、押縁部分は、組立前の部材のうちに下塗りを行う。 (イ) 工事現場において取付け後、汚れ及び付着物を除去し、損傷部分は、ワイヤブラシ、研磨布等で錆などを除去する。なお、ディスクサンダー等の強力な電動工具は使用しない。 (ウ) 素地ごしらえの後、JASS 18 M-109 変性エポキシ樹脂プライマー(ガルバロック#300)を1回塗る。 注: JASS 18 M-109 は、日本建築学会材料規格である。 *塗り付け量は被塗装面単位面積あたりの塗料材料(希釀する前)の付着質量です。 *塗付け量は被塗物の形状や、塗装方法によって増減することがあります。 *所要量及び使用量(被塗装面単位面積あたりの塗料材料(希釀する前)の使用量)は、ロス分も含むため、塗付け量より多くなります。 *適用種別が特記に示されている場合は、特記に準拠してください。 *ご使用の際にはカタログ及び説明書を必ずご参照ください。 *亜鉛めつき面耐候性塗料塗りの詳細につきましては、公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編) 平成31年度版を参照ください。				